

農地・水・環境だよい 1月号 (第14回)

平成22年1月5日

いしかわ農地・水・環境協議会

■先人から学ぶため池管理

中能登支部【夢タウン上村】

中能登町能登部上で活動している「夢タウン上村」には、広さが1.3haほどの万五郎（まんごろう）池と呼ばれる池があります。

伝え聞くところによると、江戸時代から池にコイやフナなどを養殖していた組合があり、池の清掃時に魚を捕まえて住民の栄養源とし、また魚を売ったお金で池を補修していたとのことです。

現在では組合も消滅し、池も十分な管理が行われない状態が続いていましたが、活動を契機に再び池の清掃に取り組みはじめました。

池の清掃では子どもたちも参加し、泥上げや施設補修に加えて魚捕りも行いましたが、慣れない作業で12月の寒い日でも汗だくとなりました。ようやく魚を捕まえた時は大きな歓声が上がりましたが、同時にブラックバスの生息も確認され、池の環境が変化していると感じました。



このため組織内では、現代版養魚組合を設立し池の管理と環境保全を続けていこうという意見も出ており、地域環境保全意識の高まりを感じています。

■いきいきと輝く子どもたちの為に

南加賀支部【白山田資源保全会】

私達が保全活動を行う小松市白山田町は、栗津温泉から少し離れた中山間地にあります。人口150人足らずの小さな町で、高齢化が進み、農林業の後継者がきわめて少ない町です。

当然町内会の事業予算も少なく、これまで町内会が行う子ども会事業もほとんどありませんでした。しかし、本事業を契機に蛍の観察や水辺の生き物調査等、自然豊かな環境の中で、『地域の子どもは、地域が育てる』をテーマに生きる力を身につける活動が行われています。

まず、子どもたちには、自然学習から地域の水田、畑そして山林を大切にしたいといった心が芽生えています。その活動報告は公民館行事にあわせ紹介しています。そして、それを見た老人会のお爺ちゃんやお婆ちゃんは、「自分らも負けちゃおれん」ということでお盆の墓参りの花ぐらい自分らで育てようと、公民館横の休耕田で彼岸花の植栽に汗を流しました。さらに、昨年は老人会の情報でサンショウウオの観察を行い、来年3月にはサンショウウオの産卵を観察する予定です。

このように私達の町では、少しづつ資源保全に関心を持つようになり、子供も含め地域で農村環境を守り育てる気持ちに繋がりました。そして、このような保全活動が、青少年健全育成事業へと裾野を広げています。



■白鳥の里の整備について

「エコロジー八丁」が活動を実施している珠洲市正院町八丁地区は、複数集落から耕作者が出入りしています。

農業者のまとまり、地区住民との一体化を高めるため、「エコロジー八丁」は、地域有志「殿山会」と協力して、シベリアから飛来してくる白鳥の保護や、越冬できるほ場の整備を実施しています。

地区にある正院小学校と連携して、児童と一緒に越冬のための餌になる米の保管庫の外壁を整備したり、白鳥の観測会を行うことにより、子供たちが自然や農業への関心を高めることを目的に活動を行っています。

奥能登支部【エコロジー八丁】



■アドバイザーグループ会議の開催

県央支部【グリーンアース河北潟】



グリーン・アース河北潟が取組む河北潟干拓地は2市2町にまたがる広大な畑作と酪農を営む農業地帯であります。近年、近隣における地域では住宅団地や大型ショッピングセンター等の開発により都市化が進んでいる状況となり、河北潟の水質や生態系保全の観点から様々な課題が山積しています。また、干拓地は都市近郊に位置していることから来訪者も多く、干拓地の有効利用や知名度向上の推進

を図りながら、人にも環境にも優しい地域づくりを追求することが課題となっています。

このためグリーン・アース河北潟では、大学教授、N P O、消費者団体、土地改良事業団体連合会等で構成する「アドバイザーグループ」を設置し、幅広く意見の収集に努めています。会議では、生態系保全、水質保全、生活環境保全、資源循環など、今後の取り組みについて意見をいただきました。今後はこれらの意見を参考に、当事業のさらなる進展を図りたいと思っています。

【事務局からのお知らせ】

新年明けましておめでとうございます。活動に取り組んでいる皆様には、ゆったりとしたお正月を迎えたことと心からお喜び申し上げます。

さて、本年2月末日には体制整備構想（案）の提出時期であります。各種の総会等で、構想についてよりよい環境づくりに取り組んでいけるよう幅広い地域住民のみなさんによる意見交換を行い、構想の作成をお願いいたします。本年もよろしくお願ひいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹

TEL : FAX 076-249-8191 E-mail : ishikawa@shigenhozen.jp